



歴史と文化を伝える 地域の祭りの大切さ

観光協会で仕事をしていると、月日を追うごとに柳川には素晴らしい祭りが数多く残っていると感じます。個人的に特に魅力を感じるのは、「どろつくどん」や「どんきゃんきゃん（風流）」などの無形民俗文化財です。風習や技術が継承されていて、その地域の歴史と文化を垣間見ることができるからです。

私が以前関わっていた村では、無形文化財の「能」を400年絶やさず舞っています。この村には、昭和30年から40年代にかけて3000人以上が住んでいました。しかし、今では600人ほどになり、能を引き継ぐ人材も減少。さらに、伝承は口頭だったため、3演目のうち1つの演目で言葉の意味を正確に伝えられる人がいなくなりました。

今の時代、祭りの映像を残すのは簡単です。併せて言葉や所作の意味を次の世代へ伝承していくことも大切です。柳川の祭りの言葉や所作が、次の世代へとしっかりと引き継がれ、今後も柳川の歴史と文化を表現するものであり続けてほしいと願っています。



竹下 政志 (50歳)

【プロフィール】市観光課に所属。観光プラットフォーム構築を担当